

(公財)京都市男女共同参画推進協会		平成28年度経営計画 兼 経営努力結果	
基本事項			
所管局課	文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」			
方向性	自律化	目標年度	平成32年度
「今後の方向性」に向けた基本的方針			
業務面	「第4次京都市男女共同参画計画」の重点分野である「DV対策の強化」や「真のワーク・ライフ・バランスの推進」など様々な事業を実施し、京都市域全体における男女共同参画の推進を目指す。		
財務面	京都市以外の自治体や大学、企業からの受託事業の増加等により、特定の収益に極端に依存しないバランスのとれた協会運営を目指す。		
組織面	当協会の3つの基本姿勢である「支援」、「育成」、「提言」の下、関係機関等と協働ができる人材を育成するとともに、職員の資質や能力の向上及び組織風土の改善や活性化を目指す。		
その他	特になし		
当年度の取組目標に対する意見			
所管局	<p>業務については、平成28年3月に策定した第4次京都市男女共同参画計画「きょうと男女共同参画推進プラン（改定版）」の方針に基づき、講座の内容や開催時期、PR方法などに工夫を凝らし、受講者数の増加につなげるとともに、図書情報室の利用者数の増加に向けて積極的に取り組むよう働きかけていく。また、相談業務においては、相談者のニーズに沿える相談室の運営を行うよう指導していく。</p> <p>財務については、本市からの受託事業等、特定の収益に依存しない運営ができるよう、多様な機関からの事業受託や助成金への応募、寄付金の呼びかけなどにより、収入を確保し、安定した経営を行っていただきたい。</p> <p>組織及び人員については、平成26年度に策定した人材育成計画に基づき、関係機関等と協働ができる人材を育成することで、組織の活性化につなげられるような組織運営に取り組んでいただきたい。また、職員個人のスキルアップと利用者目線に立ったサービスの向上に今後も常に取り組んでいただきたい。</p>		
当年度の取組に対する総括			
団体(※)	<p>「男女共同参画の視点を持った相談員養成」については、インターンシップを実施し、当協会事業の相談サポートとして登録し、事業運営の補助をするなど、順調に遂行している。</p> <p>財務に関しては、自主事業収入や京都市以外からの受託事業収入などにより、目標額を上回った。同時に、経費節減に努めた結果、4年ぶりに黒字決算となった。</p> <p>人材育成については、経費節減の中、研修等が組みにくい状況ではあるが、今後の協会運営を考え、協会職員に研修を実施していく必要がある。</p>		
所管局(※)	<p>業務については、安定した事業の実施や相談体制の構築ができています。引き続き、相談員の確保に努め、また、新たなニーズにも柔軟に対応していくことが望まれる。</p> <p>財務については、経費節減に向けた努力等により平成28年度は4年ぶりに黒字に転じることができたものの、いまだ不安定な状況にある。今後も、自律化に向けて、企業や団体等からの事業受注を増加させるなどにより、安定的な経営を継続することが望まれる。</p>		
外郭団体総合調整会議(※)	<p>自主事業の充実、受託事業の確保等への取組に加え、積極的な経費節減により、4期ぶりに当期正味財産増減額が黒字化したことは評価できる。引き続き、自主事業の充実に取り組み、安定した収益基盤を確立してほしい。</p>		

(1)業務に関する取組

目標「男女共同参画の視点を持った相談員の養成」

中期経営計画 における取組	あらゆる相談窓口に関わる人を対象に、ジェンダーの視点を持ち、個人の問題を社会の問題として捉えることのできる人材の養成を目指し、連続講座を実施する。また、講座修了生を対象に当協会でのインターンシップを実施し、ジェンダーの視点を持った相談員を確保し、京都市域の大学におけるハラスメント相談室等への相談員派遣事業に取り組む。
当年度目標	①インターンシップの実施 平成27年度相談員養成講座修了生を対象とし、参加人数4名を目標とする。 ②相談事業ボランティア登録事業の実施（インターンシップ修了生対象） DV被害者自立支援講座、居場所づくり事業等へのサポーター参加 ③平成28年度についても相談員養成講座を継続実施
当年度結果 (※)	①インターンシップを実施した。 4名を対象に相談室にて実施 ②相談サポーター登録 インターンシップ終了後4名が相談サポーターとして登録し、平成29年度の相談員養成講座にスタッフとして参加した。 ③公開講座「性犯罪被害とたたかうということ」、連続講座「実践するジェンダーカウンセリング」を実施した。（のべ人数130名参加、養成講座修了生21名）

指標	相談員派遣人数				(単位：名)		
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
中期経営計画	—		0		0		2
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	0	0	0	—	0

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	223,782	222,274	215,720	219,927	214,640	216,291	
経常費用	238,091	231,307	233,252	231,066	232,100	213,060	
当期経常増減額	△ 14,309	△ 9,033	△ 17,532	△ 11,140	△ 17,460	3,231	
当期正味財産増減額	△ 17,207	△ 11,093	△ 19,732	△ 13,401	△ 15,732	1,970	
資産合計	—	244,759	—	225,110	—	229,668	
負債合計	—	96,227	—	89,978	—	92,567	
正味財産	—	148,532	—	135,131	—	137,101	
うち累積損益額	—	98,532	—	85,131	—	87,101	

目標「様々な機関からの受託事業等の充実による収益増加」

中期経営計画における取組	京都市からの受託事業や補助金事業などの特定の収益に依存しない運営を目指し、自主事業だけでなく、京都市以外の団体からの受託事業、助成金への応募、寄付金の呼びかけなどにより収益増加を図る。
当年度目標	京都市以外の機関からの受託事業金額、自主事業収入金額、助成金金額及び寄付金金額を、合計で32,000千円確保する。
当年度結果(※)	自主事業収入、助成金金額及び寄付金金額、京都市以外の機関からの受託事業金額等の合計額は、32,602千円であり、目標額の32,000千円を上回った。今後は、寄付金等の呼びかけを積極的に行っていききたい。

指標	京都市以外の機関からの受託事業金額、自主事業収入金額、助成金金額及び寄付金金額の合計							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		29,000		30,000		32,000		32,000
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
	29,000	29,926	30,000	32,664	32,000	—	32,602	

(3)組織に関する取組

目標「人材育成の強化」

中期経営計画 における取組	人材育成計画を策定し、計画に基づく多様な研修を実施することによって、関係機関等と協働ができる人材を育成する。
当年度目標	①協働、話し合いのできる組織を目指したチームビルディング研修（会議の仕方、報連相等） ②業務に活かすスキルアップ研修（講師力、グループ育成、クレーム対応等） ③意識と行動の変容をめざしたリーダーシップ研修（キャリアデザイン、問題解決等） ④能力を発揮しイキイキと働くためのメンタルヘルス、ハラスメント対応研修（コミュニケーション、アンガーマネジメント等）
当年度結果 (※)	●経営状況の悪化により、経営問題に関する学習会を実施 6/10 全職員対象 公益法人会計の解説と当協会の財務諸表の説明 ●次世代リーダー研修 係長・主任対象 12/19 1/23 全2回 リーダーの自覚と行動を促すため、継続したマインドアップ、スキルアップを図った。 ●管理職を中心に外部のビジネス研修に参加。10/20, 12/6

指標	人材育成計画に基づく人材育成研修の実施回数 (単位：回)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		10		10		8
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	人材育成計画策定	10	16	10	—	5